

地域力 発見

宮下今日子
第13回 東京都北区

別に、介護が必要な高齢者や心身障がいのある人に対し、出張理美容サービスを専門に行うNPO団体。全国各地に拠点となるセンターを設け、協会認定の「福祉理美容士」を養成し、派遣しているのが大きな特徴だ。

東京都北センター（北区）の矢口よし子氏は、40年近く看護師として働いてきたが、60歳を前に理美容業界に転職した。

現在、茨城県つくば市の「筑波記念病院」で「福祉理美容士」として働いている。看護師は患者の療養生活を支える仕事だが、特に頭髮のケアは自分の手の届かない部分で、もどかしさを感じていた

るくなり、笑顔がこぼれることが多いと話す。こうしたとき、家族は決まって「信じられない」と驚くそうだった。

「理美容ケアは、看護師と同様に療養生活を支える大切なケアになっっていると思っています」と矢口さんは仕事のやりがいを話す。

「福祉理美容士」は、顔そりはもちろん、カット、パーマ、カラーリング、爪のケアやマニキュア、メイクまで行う。「きれいになることで、ご本人も変わります」と話すのは現場で働く橋本悦子さん。

訪問理美容サービス で高齢者に笑顔

のがきついかげだ。

美容学校を出て、協会の「福祉理美容士」の資格を取り、現在では、看護・介護それぞれの知識を生かしながら、状態が重

協会の運営面も順調で、全国39センターまで広がり、委託者（福祉理美容士）は全国で約200人。5年間で5〜6センター増えており、今後は各県に1センターを目指している。

髪をきれいにすることで、表情が明るくなり、笑顔がこぼれる

い人にも美容サービスを提供している。矢口さんは、無表情で無言の寝たぎりの方でも、髪をきれいにすると、表情が明

東京城北センターでは、デイサービス、デイケアを含め、特養、グループホーム、クリニックなどの施設に約20カ所、大手の入浴サービス業者との連携により約20宅にサービス提供している。民間のNPOが主体となり、地域力という点からも、今後は期待されてい

洗髪は介護保険が適応されるが、ヘアカットは適応外。外出できず、カットで困っている高齢者は実に多い。このため、各自自治体では、生活支援サービスの一環として、町ごとに組織化されている理美容界の組合組織に委託し、訪問理美容サービスを提供しているのが一般的だ。

そうした中、「日本理美容福祉協会」（東京都北区、鈴木心一理事長）は、これらの組合組織とは

